

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等

Teamsで音読練習

- ・本文をPDF(Word)化する。
- ・課題機能を使って、配信する。

正解率 88%

お母さんが、ゆみ子を一生けんめいあやしているうちに、おたようさん父さんが、ふいといなくなっていました。

お父さんは、プラットフォームのはしほがの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。あわてて帰ってきたおたようさん父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。

使用した結果

- ①作成した課題を学年で共有できる。
- ②音読カードを回収・点検・配付する必要がない。
- ③保護者の都合に関係はなく、児童がいつでも取り組める。
- ④児童は、採点結果をもとに、音読の仕方を改善できる。

Teamsで連絡帳を配信

連絡帳を確認するついでにデジタルドリルで復習や動画で予習をする児童も増えてきた。

昨日 14:31
10月12日(木)

児童
宿

- ・音読(課題チャネルで)
- ・漢字テスト勉強(漢字ド25の①~⑩) 100点とれるように
- ・国語と理科の振り返り振り返りシート
- ・クラウド環境に理科の結果を記入しておく(班の結果)

持

- ・ピニル袋(色々な大きさや枚数があるといいかも? 明日使います)
- ・習字セット(火曜日使います)

使用した結果

- ①連絡帳が記録として残る。
- ②先生と児童が連絡帳を書く時間を削減できる。
- ③宿題やワークシートなどのリンクを貼ることができる。
- ④家庭でタブレットを開く習慣をつけることができる。